ステップアップ講座（特別講座Ⅰ）を開きました

令和元年７月２９日（月）に、東京都の私立かえつ有明高等学校・中学校の国語科教諭でいらっしゃる武井 秀行先生をお招きし、国語のステップアップ講座を開きました。

武井先生は昨年度に引き続き、本校のステップアップ講座を担当してくださいました。

今年度の題材は『走れメロス』でした。誰もが知る、太宰 治の代表作で、今回の講座の対象となった中学３年生は、中学２年次の国語の授業で既に学習しています（少数ですが、中学１・２年生の受講者もいました）。

講座の冒頭、前日（7/28）にバドミントンの国際大会で優勝した山口 茜選手（福井県勝山市出身）を報じた新聞記事を使い、「空想」と「想像」の違いを解説していただきました。「空想は何の手がかりも必要なく、家で寝転んでいてもできるものです。一方、想像は何かしら材料があり、それをもとに構築していくものです。今日は『走れメロス』の文章を丁寧に追っていって、この物語で太宰が何を表現したかったのかを想像していきましょう。」という武井先生の言葉とともに、生徒たちは『走れメロス』の世界に分け入っていきました。

「この物語の主人公は誰なのか？」「この物語で大きく変化したのは誰なのか？」「そもそも主人公とは何なのか？」武井先生の鋭い問いに、「『走れメロス』は、主人公のメロスが友人セリヌンティウスとの約束を守るために走り続け、様々な困難を乗り越えて大団円を迎える物語」という、生徒たちの『走れメロス』観は揺らぎはじめ、講義の途中に設けられたグループワークでは活発に意見が交わされました。

講義を終え、生徒たちは新たな『走れメロス』観を獲得し、さらに「物語を読むとは」、「国語を学ぶとは」といったことにまで思考の羽を伸ばしていました。